



3月8日は

国際女性デー

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは2025年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は148カ国中118位でした（2024年は146カ国中118位）。特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況が反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言い難い状況です。

日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣

習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。

問合先 人権推進課

3月1日～8日は

女性の健康週間

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、厚生労働省は毎年3月1日～8日を「女性の健康週間」と定め、女性の健康づくりを国民運動として展開することとしています。

本市では、女性特有の「子宮がん」「乳がん」などの予防啓発に取り組んでいます。この機会にぜひ、がん検診を受診しましょう。

問合先 健康推進課

差別と暴力を克服するために
大地を踏みしめ共に生きる
人権研修講演会

「安心・安全で共に生きるためのやりとり」を、身の回りの共同体、自治体、国家レベルへと押し広げることこそが世界平和につながる、という信念のもと人権ワークショップを続けてこられた白井さんからお話を聞きます。

日時 3月13日(金) 午後6時30分～8時

場所 旧下瓦屋人権文化センター 1階

定員 80人（先着順）

講師 白井俊一さん（人権ワークショップ研究会世話人）

問合先 下瓦屋地域協議会人権研修担当（☎090・8828・9878）

※申込不要、参加無料

「話と交流」「幸せに生きる」
人権を守る市民の会
合同学習会

日時 3月6日(金) 午後6時30分～8時

場所 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター

内容 「下り坂、そろりそろりと、おりてゆく」

定員 50人（先着順）

講師 中川純一さん（泉佐野市人権を守る市民の会 長南地区委員会）

問合先 人権推進課

※申込不要



広告

泉佐野市に在住する小・中学校の児童・生徒から多くの人権作品が寄せられ、昨年末に入賞者が決定し、賞状が送られました。

そのなかの最優秀賞受賞作品の一部を紹介します。(順不同・敬称略)

問合せ 学校教育課 (☎429-9356)

【読書感想文】

「おなじところちがうところを読んで」

日新小学校 3年生 諸石ひまり

わたしは、「おなじところちがうところ」という本を読みました。この本を読んで、いつも学校や家で言われている「みんなちがってみんないい」という言葉の意味がもっとよくわかりました。

わたしは、さいしょに本のだめいを見て「いろいろな人の同じところちがうところが書いてあるのかな。」と思いました。読んでみると、わたしの予そう通りでいろいろな人の同じところと、ちがうところが書いてありました。でも、わたしが思っていた以上にたくさんの人が出てきて、世界中には本当にいろいろな人がいるんだなと思いました。

たとえば、男の子と女の子が二人ともピンク色の物がすきで交かんしていたり、体にしょうがいがあってもみんなと同じようにダンスを楽しんでいたりと、国によってごはんを手で食べる人もいるということなどです。

わたしのまわりでも走るのが速い子、休み時間も教室ですごす子、かみの毛が長い子、すきな色がわたしとはちがう子など、同じクラスでもいろいろな子がいます。わたしと同じところもあるけど、ちがうところがあるからわたしの苦手なことを教えてもらったりして、とてもうれしい気持ちになります。

また、この本を読んで、わたしはふだん男の子らしさや女の子らしさと考えてしまっているのに気づきました。

たとえば出かけたときに、すみっコぐらしの服を着ていた男の子を見ました。わたしは、さいしょ「だれかのおさがりだろうな。」と思いました。でも、もしかしたら、その男の子がすみっコぐらしがすきで、その服を着ていたのかもしれない。

ほかにも学校で、男の子だけど、女の子っぽいえんぴつを持っている子がいたときに、「へんだな。なんでなんだろう。」と思って、つい気になってジロジロ見てしまっていました。

でも、この本を読んでから男の子らしさと女の子らしさは関けいなく、人それぞれすきな物があるから、その子らしさなんだなと思えるようになりました。

わたしがこの本を読んで気付いたのは、この本にはたくさんの人が出てくるけど、みんなニコニコしているところが同じところだということです。

そして、この本を読んで一番心にのこったことは、「おなじところをみつけあって、なかよくなるのもいいし、ちがうところをみとめあってなかよくなるのもいい。」という言葉です。

わたしはこれからもっとたくさんの人に出会おうと思います。たくさんの人と同じところもちがうところも大すきになってみんなとなかよくしていきたいです。

【標語】

きみとぼく ちがうからこそ よさがある

第一小学校 4年生 松林琥太郎

変わったの あの子じゃなくて 見るわたし

日根野中学校 2年生 大西陽菜



小・中学校人権作品 人権について考えよう

【詩】

「まるになあれ」

第一小学校 2年生 浅利樹輝

ぼくは自分の気持ちをつたえるのがにがて
言いたいことがたくさんあっても
いきなり聞かれると

頭の中で考えてることがぐるぐる
ぜんぜんうまくまとまらない
ことばより気もちが先にきて
なみだがでてしまう時だってある

でもわらってやさしい声で
じっくりゆっくり聞いてもらえたら
頭の中のぐるぐるはひとつのまるになって
自分の気もちをはっきりことばにできる

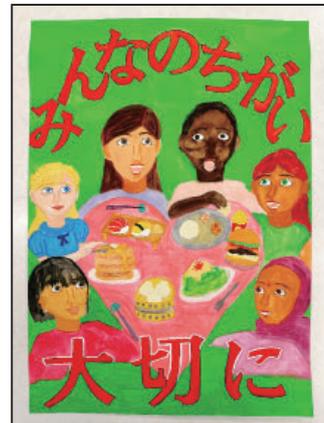
ぐるぐるはぼくだけじゃなくて
みんなにもあるとおもう

おたがいにじっくりゆっくり聞いてあげたら
みんなのぐるぐるは
きつとおおきなまるになる

じぶんの気もちをきちんとつたえたい
あいての気もちをちゃんと知りたい

頭の中のぐるぐるをまるにするやり方
もっと上手にできるようにになりたいな

ぼくのぐるぐるも
みんなのぐるぐるも
おおきなおおきなまるになあれ



▶中央小学校 6年生
濱野あめり

【ポスター】

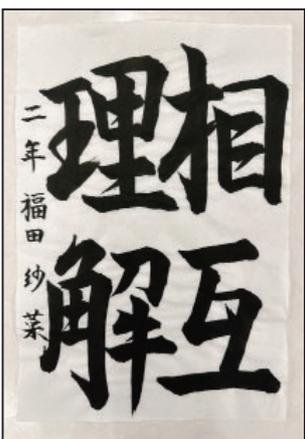


▶佐野中学校 1年生
出口愛乃



▶第三小学校 5年生
瀬戸琉海

【書道】



▶佐野中学校 2年生
福田紗菜